

型番 AKT-AC900VFR

持込修理

| | | | |
|----------|-----------|-------------------|--|
| 保証期間(本体) | ご購入日より1年間 | | |
| ※ご購入日 | 平成 年 月 日 | | |
| お客様 | ご住所 | 〒□□□□-□□□□ | |
| | ご芳名 | 様 | |
| 販売店 | ご住所 | | |
| | 店名 | TEL () - () (印) | |

〔ご販売店様〕 ※印欄は必ず記入してお渡してください。

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。ご購入日から上記期間中故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、販売店に修理をご依頼ください。

＜無料修理規定＞

- 取扱説明書や注意ラベルに従った正常な使用状況で故障した場合には、ご購入後販売店が無料修理いたします。
- 保証期間内の無料修理をお受けになる場合には、商品と本書をご持参のうえ、ご購入後販売店にご依頼ください。
- ご購入品などで、本書に記載されているご購入後販売店にご依頼できない場合には、ユアサプライムス株式会社にお問合せください。
- 保証期間内であっても次の場合には有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - (ロ) お買上げ後の移動にともなう落下などによる故障及び損傷。
 - (ハ) 火災・地震・水害・落雷その他天災地変、公害や異常電圧による故障及び損傷。
 - (ニ) 本書のご提示がない場合。
 - (ホ) 本書のお買上げ日、お客様名、販売店名などの記入のない場合や字句を書き換えられた場合。
 - (ヘ) 一般家庭用以外（業務用の使用、車両、船舶への搭載）に使用された場合の故障及び損傷。

- (ト) 消耗品を交換する場合。
- (チ) 故障の原因が本製品以外の他社製品にある場合。
- 5. 持込修理の対象商品を直接修理窓口へ送付した場合の送料などはお客様の負担となります。
- 6. 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書を発行している発売元（保証責任者）又は、事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので保証期間経過後の修理についてご不明な場合は、ご購入後販売店または、ユアサプライムス株式会社にお問合せください。
※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については詳しくは取扱説明書をご覧ください。

お願い

一度ご使用になった製品は、返品をお受けすることができませんのであらかじめご了承ください。但し、明らかに不備、不良と認められた製品につきましては、代替品と交換する準備がございます。また、保証期間の終了後や取り扱いの間違いによる故障（本体の水洗いなど）などの修理は、できる限りお客様の負担の少ないように（部品代、送料など）お見積りをご連絡し、了解を頂いた後に速やかに修理させていただきます。

ユアサプライムス株式会社

〒103-0006 東京都中央区日本橋富沢町9番8号 電話 (03)5695-1503
http://www.yuasa-p.co.jp/

お客様ご相談窓口について

- 修理、お取り扱い、消耗品、部品ご購入などのご相談は、まずは、ご購入後の販売店へお申し付けください。
- 転居や贈答品などでお困りの場合は、弊社お客様ご相談窓口であります、下記サービスセンターへお問合せください。
- アフターサービスについては、取扱説明書の中でご説明しておりますのでご覧ください。

お客様ご相談窓口

受付時間：午前10時～12時・午後1時～5時

0120-988-475

- ・サービス向上のため、音声を録音させていただくことがあります。
- ・土日・祝日、年末年始、お盆休暇を含む当社の休日は休業とさせていただきます。

V-101

ALIVIO

タワー冷風扇

型番

AKT-AC900VFR

取扱説明書（保証書付）

一般家庭用

（業務用としては使用しないでください）

このたびは冷風扇をお買上げいただき、まことにありがとうございました。ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。とくに「安全上のご注意」(1～2ページ)はご使用前に必ずお読みいただき、正しく安全にお使いください。お読みになったあとは、保証書とともに大切に保管してください。

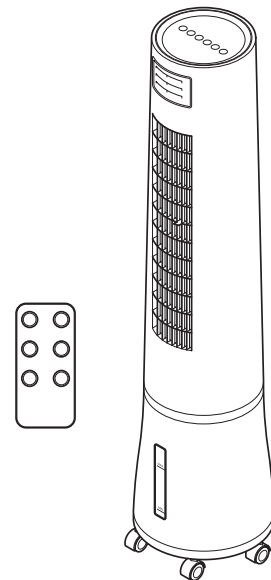
経年劣化によるご注意

長年使用している冷風扇は、火災等の事故につながる恐れがあります。安心してご使用いただくため、長期間使用しましたら安全のため必ず点検することをおすすめします。

ご使用環境及びご使用時間等が異なるため、点検時期、点検方法及び点検費用については販売店または弊社「お客様ご相談窓口」にご相談ください。

もくじ

- 安全上のご注意 1-2
- 各部のなまえ 3-4
- 置き場所のご注意 4
- 給水について 5-6
- 使い方 7-11
- お手入れと保管について 12-13
- 設計上の標準的使用期間について 14
- 修理を依頼される前に 15
- 仕様 15
- アフターサービスについて 16
- 安全に末永くお使いいただくために 16
- 保証書・お客様ご相談窓口について 裏表紙



- リモコン
- 首振機能
- 7時間切タイマー
- 3段階風量調節
- モードボタン

- イラストと実際の商品は多少異なる場合があります。
- この製品は、海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY.

安全上のご注意

- ・ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ・ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、人体への危害や物的損害を未然に防止するためのものです。

※表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

※お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です)



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。



警告 この表示は「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



分解禁止

改造はしない。修理技術者以外の方は、分解したり修理をしない。

- 火災・感電・ケガの原因になります。
- 修理は販売店または弊社「お客様相談窓口」へご相談ください。



プラグをコンセントから抜く

お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜く。また、ぬれた手で抜き差ししない。

- 感電やケガをすることがあります。



禁止

本体のすき間などに金属片、棒、ピンや針金などを差し込んだり、水や液体類をこぼさない。

- 感電や故障の原因になります。



電源プラグのほごりは定期的にとる。

- プラグにほごりがたまると、湿気などで絶縁不良になり火災、感電、故障の原因になります。



禁止

電源コードや電源プラグを破損するようなことはしない。

(傷付けたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理にまげたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものをのせたり、束ねたりしない。)

- 傷んだまま使用すると感電・ショート・発火の原因になります。



禁止

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントへの差し込みがゆるいときは使用しない。

- 感電・ショート・発火の原因になります。



電源プラグは根元まで確実に差し込む。

- 差し込みが不完全ですと感電や発熱による火災の原因になります。



包装用ポリ袋は幼児の手の届かないところに保管する。

- 誤ってかぶったときに窒息し、死亡する原因になります。



禁止

交流100V以外では使用しない。

- 感電・火災の原因になります。



水ぬれ禁止

水を付けたり、水をかけたりしない。

- 感電・ショート・発火の原因になります。



MEMO

⚠ 注意 この表示は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。



禁止

本製品は、一般家庭用です。
次のようなところでは使用しない。
感電、火災、破損、故障の原因になります。

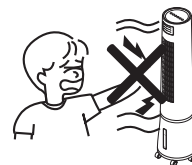
- 温室やビニールハウスなど湿度の高いところ、雨や水しぶきがかかるところ
- 工場内や飲食店、厨房など油のつきやすいところ
- 砂ほこり、綿ほこり、金属粉の多いところ
- 室外や40°C以上の高温になるところ
- ガスレンジなど炎の近くや、引火性のガスのあるところ



接触禁止

吹出口の中や可動部へ指などを入れない。
特に風向きを変えるときは注意してください。

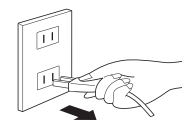
- ケガをする原因になります。



プラグを持って抜く

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず先端の電源プラグを持って引き抜く。

- 感電やショートして発熱することがあります。



禁止

テレビ、ラジオ、補聴器などの近くで使わない。

- 電波が弱いときや室内アンテナ使用時に雑音が入る場合がありますので、影響のないところまで離してご使用ください。



禁止

スプレー（殺虫剤、整髪用、掃除用など）をかけない。

- 樹脂や塗装部分に変質したり、破損する原因になります。



禁止

水道水以外は使用しない。

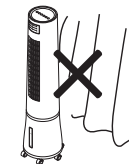
- お湯（40°C以上）や薬品、洗剤などは本体やフィルターをいためますのでご注意ください。



禁止

不安定な場所や、カーテンなどの障害物の近くでは使用しない。

- 不安定な場所や首振りを妨げる障害物があると転倒したり、羽根がカーテンなどを吸い込んだり、破損や事故の原因になります。



禁止

風を長時間身体に当てない。

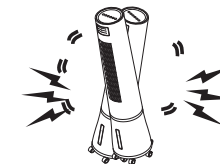
- 健康を害する原因になります。特に乳幼児、お年寄り、ご病気の方にはご注意ください。



使用を中止

本体に異常な振動が発生した場合は使用を中止する。

- 羽根やガードが脱落してケガをする原因になります。



プラグをコンセントから抜く

使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く。

- ケガややけど、絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。



禁止

製品を移動するときは引きずらない。

- 床や畳に傷がつく原因になります。

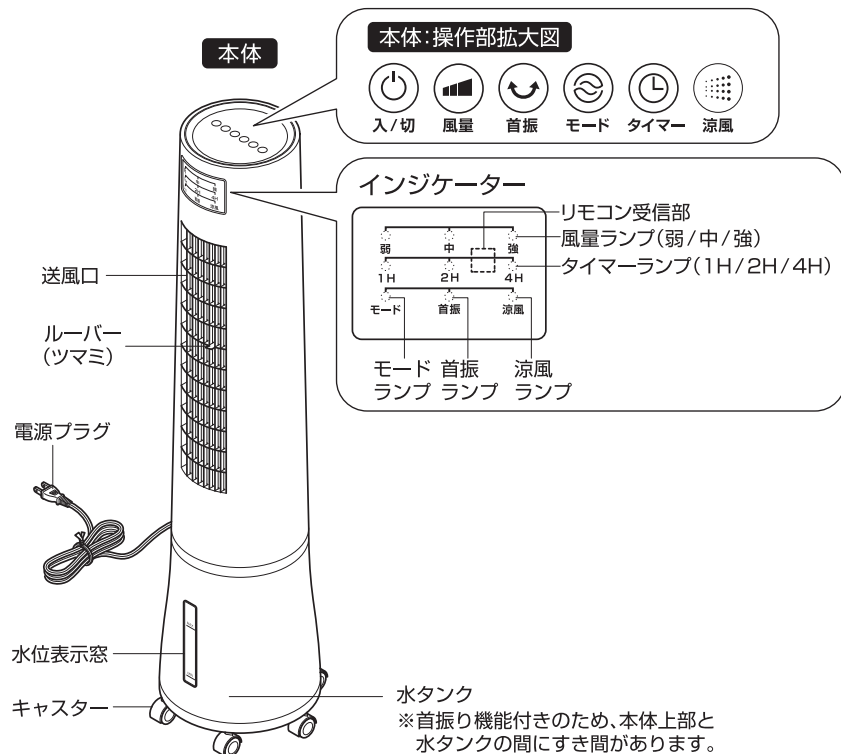


禁止

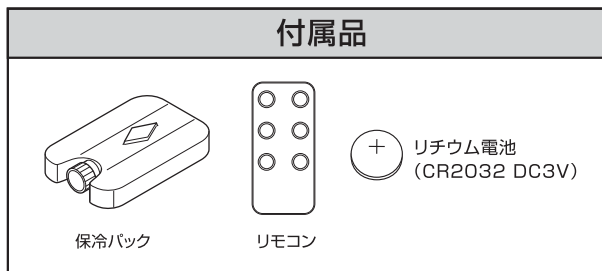
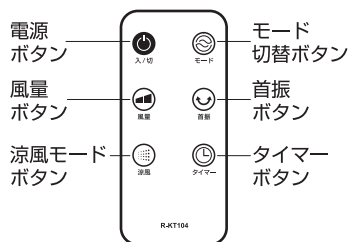
車両・船舶では使用しない。
DC/AC変換インバーターなどは使用しない。

- 故障や事故の原因になります。

各部のなまえ



リモコン：操作部拡大図



●イラストと実際の商品は多少異なる場合があります。

アフターサービスについて

(よくお読みください)

- 保証書の内容のご確認と保管について。
この製品には保証書がついています。保証書はお買い上げの販売店にて販売店名・お買い上げ日などの記入をご確認の上、内容をよくお読みになり大切に保管してください。
- 保証期間はお買い上げの日から1年間です。
保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
- 保証期間後の修理を依頼されるとき。
お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。
- 冷風扇の補修用性能部品の保有期間は製造打切後8年間です。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 修理品は、持ち込み修理となっています。修理依頼、消耗品のご購入の相談は、ご購入販売店をお願い申し上げます。通販、ネットショップでご購入の場合も同様をお願い申し上げます。
- ご使用中に普段と変わった状態になりましたら、ただちにご使用を中止して、お買い上げの販売店に点検・修理をご依頼ください。
- アフターサービスについてわからないことは…
上記の内容についての詳細、贈答・転居の場合など、その他製品に関するお問い合わせ、ご質問がございましたら、お買い上げの販売店までお問い合わせください。

商品の譲渡・リサイクル品については、保証適用を受けられない場合があります。ご注意ください。

●「ご相談窓口における個人情報のお取り扱いについて」

ユアサプライムス株式会社は、お客様の個人情報や相談内容を、ご相談への対応や修理、その他確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示、提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

安全に末永くお使いいただくために

愛情点検

★長年ご使用の『冷風扇』の点検を！



このような症状はありませんか？

- 電源ボタンを入れても作動しない。
- 回転するときに異常な音がする。
- 本体が異常に熱かったりコゲくさいにおいがする。

このような症状の時は使用を中止し、故障や事故の防止のため必ず販売店に点検をご相談ください。

- 上記のような症状がなくても、安全のため定期的な点検をおすすめします。点検費用については販売店にご相談ください。

給水について

水タンクに水を入れる

※送風のみでご使用の場合は給水不要です。

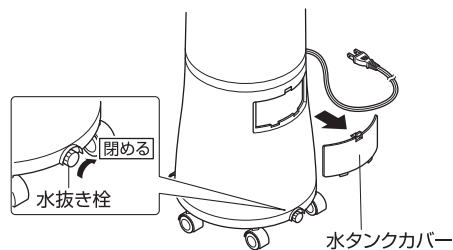
警告 必ず電源プラグをコンセントから抜いて作業してください。

注意

- 必ず水道水を入れてください。
 - 一般的に水道水は塩素殺菌処理がされており、雑菌が繁殖しにくいからです。
- 水タンクの水は2~3日を目安に新しい水道水と入れ替え、水タンク内部は常に清潔に保つよう定期的にお手入れしてください。排水するときは、P.12の「排水と水タンクのお手入れ」を参照してください。
 - お手入れをせずに使い続けると、カビや雑菌が繁殖し、悪臭の原因になります。体質によっては、過敏に反応し、健康を害する原因になります。
- 以下のような水は水タンクに入れないでください。
 - 浄水器の水、アルカリイオン水、ミネラルウォーター、井戸水などはカビや雑菌が繁殖しやすくなります。
 - 40℃以上のお湯やアロマオイル、水溶性のアロマ液、化学薬品、汚れた水、芳香剤、洗剤を入れた水などは、製品の変形または故障の原因になります。
- 本体の移動は、水タンクから水を抜いてください。床が漏れる原因になります。
 - 排水のための移動は、内部の水がこぼれないように、ゆっくり本体を移動してください。

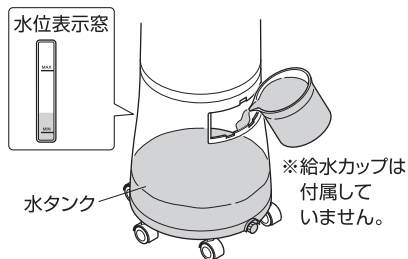
① 本体背面の水タンクカバーを外します。

- 水を入れる前に水抜き栓がしっかり閉まっているか確認してください。
- 水抜き栓に緩みがある場合、水漏れの原因になります。
- 本体内部の排水ホースには、排水を促すための空気穴があります。
- 商品の特性上、本体内部にグリスが塗られています。給水の際に水タンクに流れ込むことがありますが、身体に害を及ぼすものではありません。



② 本体正面の水位表示窓を確認しながらゆっくりと水を水タンクへ入れます。

- 水タンク内にモーターがありますが、そのまま給水しても問題ありません。
- 水タンクの最大容量は3.5Lです。
- 水位が「MAX」を超えないように水を入れてください。

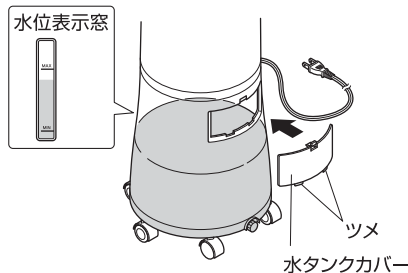


お知らせ

水位が「MIN」より低いと、タンクの水を吸い上げることができません。「MAX」と「MIN」の範囲内におさまるように水を入れてください。

③ 本体背面の水タンクカバーをしっかりと取り付けます。

- 下側のツメ2か所を引っ掛けてから、カチッと音が鳴るまで押してください。



設計上の標準的使用期間について

- 本機の設計上の標準使用期間は5年です。

【ご注意】

- ※設計上の標準使用期間は、以下の標準的な使用条件の下で、適切な取扱で使用し、適切な維持管理が行われた場合に、安全上支障がなく使用することができる標準的な期間として設計上設定されている期間です。尚、無償保証期間(お買い上げの日から1年間)とは異なります。保証内容等について、詳しくは裏表紙の保証書をお読みください。
- ※使用頻度、使用環境、設置場所が下記標準的な使用条件と異なる場合、または、業務用等、本来の目的以外の方法で使用された場合は、記載の設計標準使用期間より短い期間で経年劣化が起きる可能性があります。

注意

設計上の標準使用期間を超えて使用されると、経年劣化による発火、ケガなどの事故に至る恐れがあります。

● 扇風機の標準的使用条件

| 項目 | 条件 | |
|---------|----------|----------------|
| 1. 使用環境 | 温度/湿度 | 30℃/65% |
| | 電源電圧/周波数 | 100V / 50/60Hz |
| 2. 使用条件 | 設置場所 | 標準設置 |
| | 運転時間(1日) | 8時間/日 |
| 3. 使用頻度 | 運転回数 | 5回/日 |
| | 運転日数 | 110日/年 |
| | スイッチ操作回数 | 550回/年 |
| | 首振運転の場合 | 100% |

※日本工業規格 JIS-C9921-1より

フィルターのお手入れ

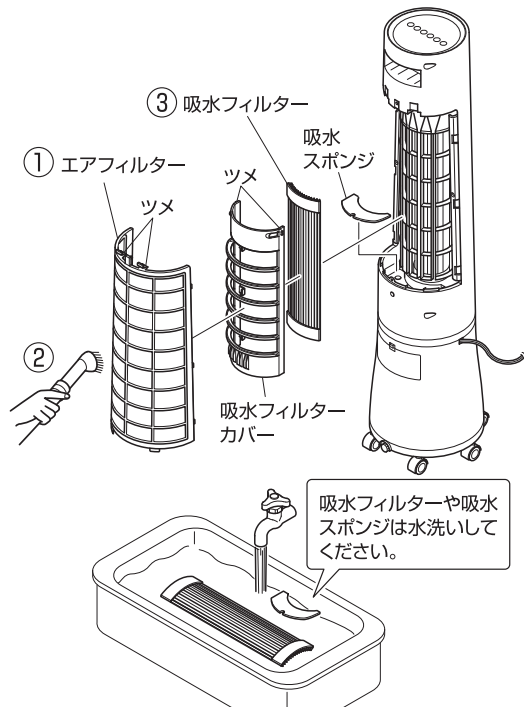
- ① エアフィルターの左右のツメを下に押し下げながら、手前に引いて取り外します。
・無理な力で外そうとするとフィルターを壊してしまうおそれがあります。
- ② 取り外したエアフィルターのホコリを、掃除機などを使って吸い取ります。
- ③ 吸水フィルターを取り外し、柔らかいブラシなどで水洗いします。
- ④ お手入れが終わったら、逆の手順でエアフィルターと吸水フィルターを装着します。
・エアフィルターを取り付けるときは、下部をしっかりと差し込んでから上部のツメをはめてください。
・エアフィルター、吸水フィルターを外した状態で運転はしないでください。

お知らせ

本機の性能を維持するため、1か月に1回はエアフィルターと吸水フィルターのお手入れを行なってください。
長期間使用しない場合はお手入れをした後、1～2時間のカラ運転（風量「強」、涼風「切」）をして内部を乾燥させてください。
※カビなどの発生を防ぎます。

注意

吸水フィルターや吸水スポンジを水洗いしたあとは、十分に乾燥させてから取り付けてください。



保管の仕方

お手入れをした後、次のような点に注意して保管してください。

- 各部の水分を乾いた布などでよく拭き取ってください。
- お買い上げ時の箱に入れるか、ポリ袋などで包み、保管してください。
- 直射日光の当たらない、湿気の少ないところに保管してください。

保冷パックや氷を使用する

※凍らせた保冷パックや氷を水タンクに入れると、涼風効果が高まります。

警告

必ず電源プラグをコンセントから抜いて作業してください。

注意

- ・保冷パックを使うときは、必ず水タンクに水を入れてください。
- ・氷を入れすぎると本体に結露が起き、床をぬらすおそれがあります。
● 本体の下にトレイなどを敷いて使用してください。※トレイは付属していません。
- ・トレイの上に乗せて使用する場合は、不安定な場所は避けて、本体が転倒しないか確認してから使用してください。

- ① 本体背面の水タンクカバーを外します。
- ② 保冷パックまたは氷を入れます。
- ③ 水位表示窓を確認しながら、ゆっくりと水タンクに水を入れます。
- ④ 本体背面の水タンクカバーをしっかりと取り付けます。
※下側のツメ2か所を引っ掛けてから、カチッと音が鳴るまで押してください。

お知らせ

水タンクに水が入っている場合は、水を排水してから保冷パックまたは氷を入れてください。
排水するときは、P.12の「排水と水タンクのお手入れ」を参照してください。

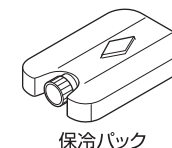
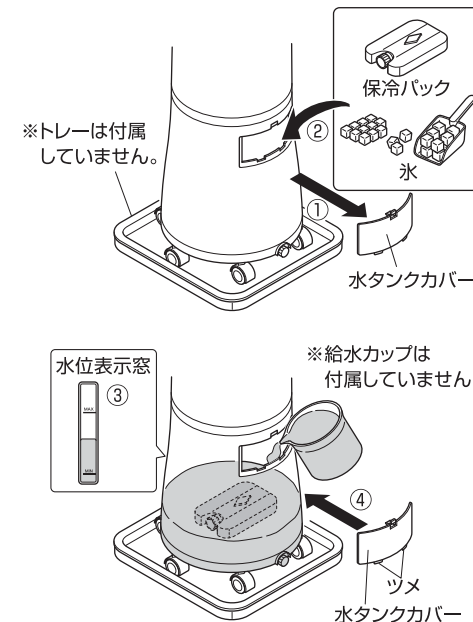
※水タンクに水が入っている状態で保冷パックや氷を入れると、急な水位の上昇で水漏れの原因になる場合があります。

- 保冷パックについて
付属の保冷パックを冷凍庫に入れて凍らせます。

- ・約4～5時間で凍ります。
- ・保冷パックは繰り返し使用できます。

保冷パックの品質表示

| | |
|-------|------------------------|
| タンク材質 | ポリエチレン |
| 内容物 | 水52%、塩基30% アクリル酸18% |



注意

- ・保冷パックのキャップは外さないでください。
● 保冷パックのキャップは外れない構造になっています。無理に開けようとししないでください。
- ・保冷パックから万が一保冷剤が漏れたりした場合は、危険ですので以下の点に注意してください。
● 皮膚に保冷剤が付着した場合は、直ちに水と石けんで洗い流してください。
● 誤って保冷剤を飲み込んでしまった場合は、直ちに医師の診断を受けてください。
● 誤って保冷剤が眼に入ってしまった場合は、水でよく洗い、直ちに眼科医の診断を受けてください。
- ・付属の保冷パックは本製品専用です。ほかの目的では使用しないでください。

使い方

- 電源プラグを交流100Vのコンセントに根元まで確実に差し込んでください。

操作部の注意

電源プラグがコンセントに差し込まれていると、操作部の一部が少し熱くなる(室温より約10℃)ことがあります。また、きわめて小さい音(ジー音)がすることもありますが、これらは異常ではありません。(制御回路に待機電流が流れているため)

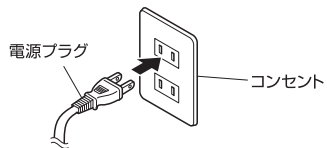
電源プラグをコンセントに差し込む

コンセントに差し込むと電子音が鳴ります。



注意

- ・電源プラグは奥までしっかり差し込み、電源コードは束ねたまま使用しないでください。
- ・運転中にエアフィルターを取り外さないでください。
- ・運転中に水タンクカバーを開けたり、給水したり、保冷バックを入れたりしないでください。



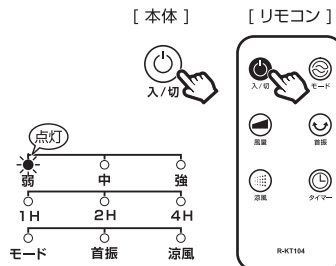
① 電源「入/切」ボタン

このボタンを押すと電子音が鳴り、風量「弱」で運転を開始します。同時に本体の「風量ランプ(弱)」が点灯します。このボタンをもう一度押すと電子音が鳴り、運転を停止します。



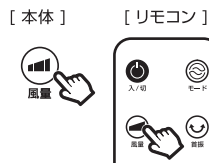
注意

- ・長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・エアフィルターが正常にセットされていないと電源が入りません。
- ・長時間使わないときは、水タンクの水を捨ててください。
- ・排水するときは、P.12の「排水と水タンクのお手入れ」を参照してください。
- ・電源を切る時には、首振り運転を停止させてから電源「入/切」ボタンを押してください。



② 「風量」ボタン

このボタンを押すたびに電子音が鳴り、風量が切り替わります。



お手入れと保管について



警告

お手入れの時は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。感電やケガをする原因になります。



注意

本体に水をかけないでください。感電・ケガ・故障の原因になります。

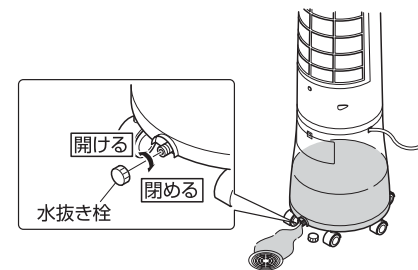
お手入れの仕方

- お手入れの前には、必ず電源ボタンを押して運転を停止させ、電源プラグを持ってコンセントから抜いてください。
- 本体の汚れは、ぬるま湯か中性洗剤を浸した布で拭き取った後で柔らかい布で空拭きをしてください。ほこりがたまりますとモーターの加熱や異常音などの原因になります。
- ガソリン、シンナー、ベンジン、アルカリ性洗剤、灯油、ベンゾール、アルコール、みがき粉などで拭かないでください。また、殺虫剤などをかけないでください。樹脂や塗装部分が、変色、変質する原因になります。
- 化学ぞうきんでこすったり、長時間接触させたままにすると、変質したり塗装がはげたりすることがありますのでご注意ください。
- 電源プラグは、水気のない乾いた布などで拭いてください。

排水と水タンクのお手入れ

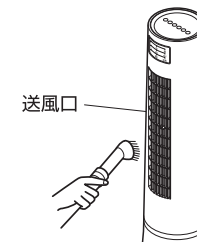
水タンクの水は、2～3日を目安に新しい水道水と入れ替え、水タンク内部は常に清潔に保つよう定期的にお手入れしてください。

- ・風呂場など、排水してもよい場所で行なってください。
- ・水抜き栓の紛失にご注意ください。



送風口のお手入れ

細かいところにたまったホコリなどは、掃除機で吸い取ってください。



リモコンの使い方

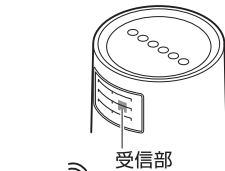
ご使用前に：工場出荷の段階で電池がセットされていますので、ご使用前に絶縁シートを引き抜いてください。

① リモコンを受信部に向けてボタンを押します。

- 操作できる距離は受信部正面で約3m以内です。
- リモコン操作はリモコン受信部に対し正面から操作してください。



絶縁シート

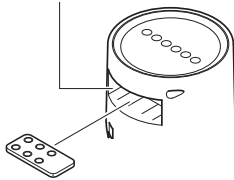


受信部



約3m以内

取っ手/
リモコン収納部



注意

- 本機のリモコンで他のリモコン付冷風扇が動作することがありますので、他の冷風扇を近くで取扱中にご注意ください。
- テレビやオーディオのリモコン等を使用した際、まれに本体が反応して動作することがあります。これは本製品と同じ周波数で起こる現象ですので、そのような場合は本体に影響しない場所でご使用ください。
- 受信部に直射日光が当たったり、インバーター照明器具、または電子瞬時点灯照明器具を使用している部屋では、リモコンで動作しないことがあります。
- リモコンを踏んだり、落としたり、水をかけたりしないでください。破損・故障の原因になります。
- 送信部と受信部の間に障害物がないようにしてください。
- リモコンの操作距離が50cm以内でないと動作しなくなったら新しい電池と交換してください。

② リモコンホルダーについて

- リモコンは、本体後方の収納スペースに収納することが出来ます。
- 紛失防止のために、ご使用後はリモコンを収納することをおすすめします。



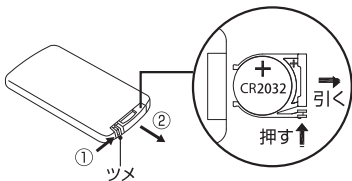
注意

乳幼児やお子様が悪って電池および電池ケースを飲み込まないようにご注意ください。

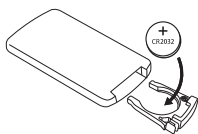
リモコンの電池の入れ方

1. リモコンを裏返し、電池ケースを引き出します。

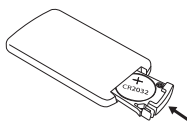
- ツメを内側に押しながら、
- 手前に電池ケースを引き出します。



2. 電池を電池ケースに正しく入れます。必ずプラス(+)面を上にごください。



3. 電池ケースを矢印の方向に入れます。



※ 長時間使わないときは電池を取り出してください。(液漏れによる故障を防ぎます)

※ 電池はリチウム電池CR2032をご使用ください。その他の一部の電池では、リモコン操作に支障をきたす場合があります。

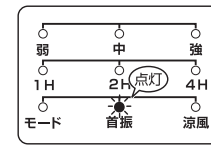


注意

- 電池は工場出荷時に同梱していますので自己放電のため寿命が短くなっている場合があります。
- 電池プラスとマイナスは十分注意してください。
- 電池が液漏れを起こした場合は、漏れた液をよく拭き取り、新しい電池をセットしてください。(漏れた液が体に付着した場合はよく洗い流してください。)
- 電池を火の中に入れてください。またショートさせたり、分解や加熱したりすることは危険ですので、絶対にしないでください。

③ 「首振」ボタン

このボタンを押すと電子音が鳴り、左右最大約80°の首振り運転を開始します。同時に本体の「首振ランプ」が点灯します。このボタンをもう一度押すと電子音が鳴り、首振り運転を停止します。同時に本体の「首振ランプ」が消灯します。



左右70°



注意

商品の特性上、首振り音がしますが、不良や異常ではありません。

※電源を切る時には、首振り運転を停止させてから電源をお切りください。

風向き調節の仕方

送風口にあるルーバーのツマミをもって動かします。風向きを上下に変えることができます。



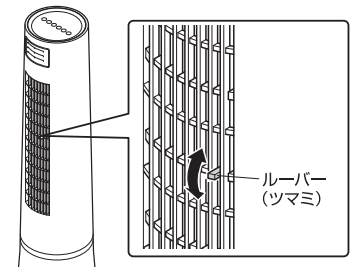
指のケガに注意

風向きを変えるときに各部の隙間に手や指を挟まないようにご注意ください。



注意

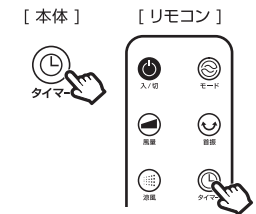
吸込口(後ガード)や吸出口(前ガード)をふさいだり、物を巻き込ませたりしないでください。



ルーバー
(ツマミ)

④ 「タイマー」ボタン

このボタンを押すと電子音が鳴り、タイマー運転を開始します。同時に本体のタイマーランプ「1H」が点灯します。

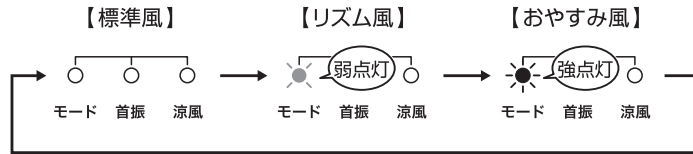


- タイマー設定は1時間から1時間間隔で7時間まで設定することができます。点灯した表示ランプの時間数の合計が設定時間となります。
- 押すたびに設定時間が切り替わり、以下の順で表示ランプが点灯します。
- 時間の経過とともに、タイマー表示ランプが1H単位で消えていき、残りの時間を表示します。
- 設定時間が過ぎると「電源」ボタン以外は消え、運転を停止します。



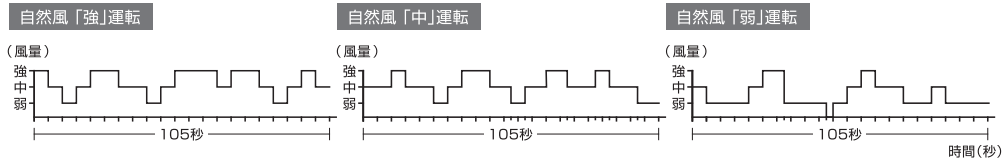
⑤ 「モード」 ボタン

このボタンを押すと電子音が鳴り、3種類のモードを選ぶことができます。



【標準風】: 「風量」ボタンで選択した風量で動作します。

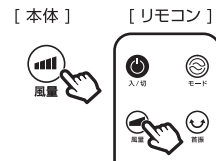
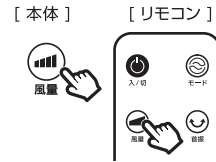
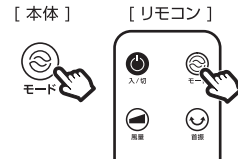
【リズム風】: 風量の「強」「中」「弱」「停止」状態がプログラムされた順序で切り替わり、より自然に近い風になります。プログラムの内容は「風量」ボタンによって「強」「中」「弱」の3種類が選べます。



【おやすみ風】: 風量ボタンの「強」「中」「弱」によって、3種類の動作が選べます。タイマー設定と組み合わせて使うことも可能です。

- 「強」設定時: 自然風モードの「強」で30分
→ 自然風モードの「中」で30分
→ その後は自然風モードの「弱」で運転が続きます。
- 「中」設定時: 自然風モードの「中」で30分
→ その後は自然風モードの「弱」で運転が続きます。
- 「弱」設定時: 自然風モードの「弱」で運転します。

※おやすみ風モードの「弱」運転は、自然風モードの「弱」と同じ動作になります。



⑥ 「涼風モード」 ボタン



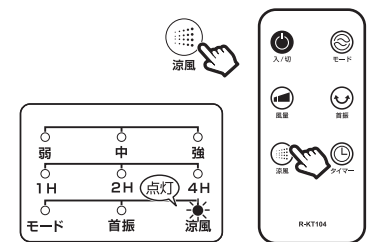
注意

- ・涼風モードをご使用前に、背面の吸水フィルターがフィルターカバーにしっかりとハマっているか確認してください。
 - 吸水フィルターがずれていると、そのすき間や前方の送風口から水が飛散する場合があります。
- ・涼風モードでの運転は部屋の窓を開けて行ってください。
 - 閉め切った室内で長時間使用すると、涼風にならないことがあります。
- ・室温や湿度変化により(保冷剤や氷を使わなくても)水タンク内の水で本体に結露が発生する場合があります。
 - 柔らかい布などで本体の結露を拭き取ってください。
 - 本体の下にトレイなどを敷いて使用してください。(P.11参照) ※トレイは付属していません。

このボタンを押すと電子音が鳴り、涼風運転を開始します。同時に本体の「涼風ランプ」が点灯します。

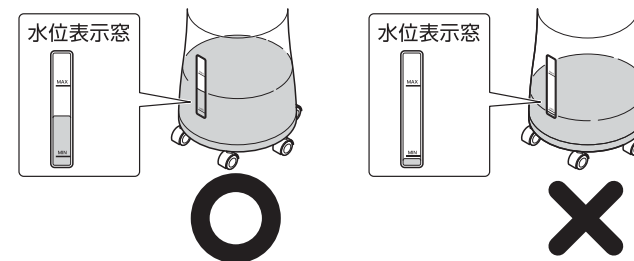
- ・水タンクに水が入っていない時に「涼風」ボタンを押すと、数秒後に電子音が鳴って涼風運転が停止し、送風運転に変わります。
- ・涼風モードを始動した場合に、「キュー」と音が鳴ることがありますが、これは空気抜きの音で異常ではありません。

[本体] [リモコン]



水タンクの水が水量表示の「MIN」を下回ったら給水してください。

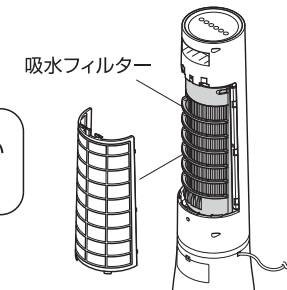
- ・涼風モードを続けて使用すると、水タンクの水が徐々に減ってきます。水位表示窓の「MIN」を下回ると電子音が鳴り、自動的に送風運転に変わります。



※水タンク内に残っている水を捨ててから給水してください。(P.12参照)

お知らせ

吸水フィルターが装着されているか確認してください。



注意

涼風モード使用時は、水タンクの水が上下に循環しますので、水タンク内に気泡が発生しやすくなります。不良や異常ではありませんので、そのままご使用ください。